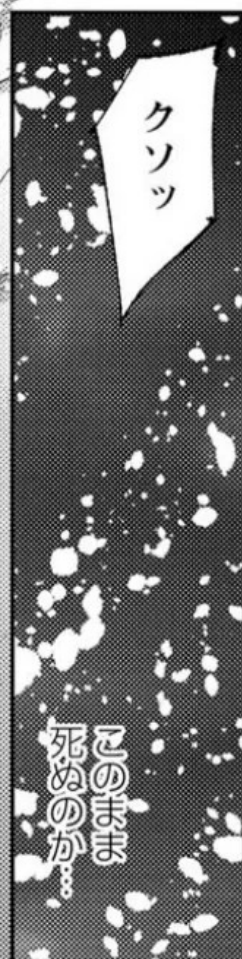
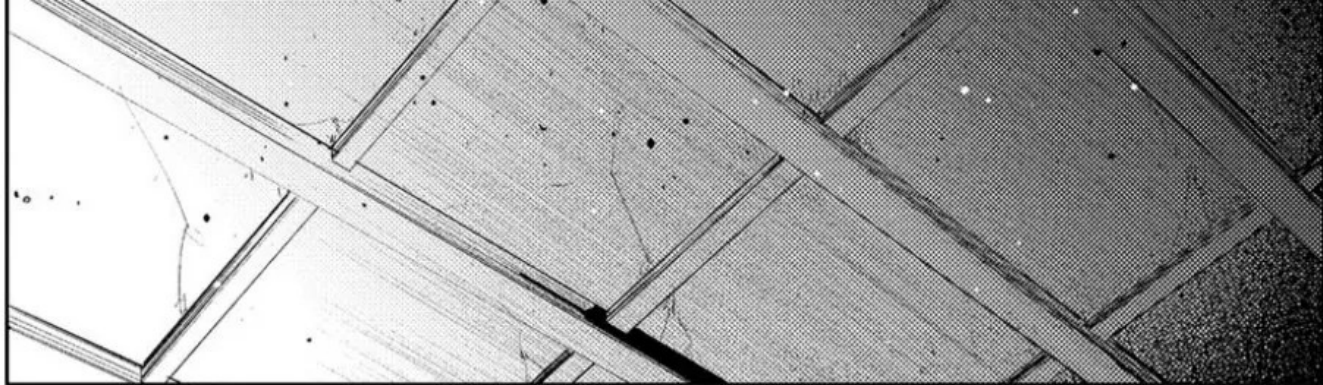


■雪山に翻弄され遠のく意識——目前には更なる驚異が……



魔未断の雪。







ユキと
申します



えっ
ええ!?



え

えと...?
君は...

おお



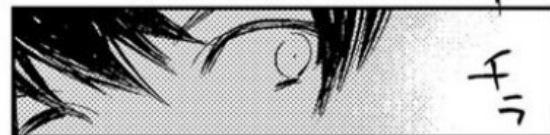
ユキ...さん



雪山で
倒れていました



俺はなんで...



あんまり
迷惑かけても
悪いし…

今度改めて
お礼するから

山を降りるん
ですか？

うん

待って

待ってください

だめです！
この時期の雪山を
降りるのは危険です

わかった

お願い…

ムムムム

それから
彼女との奇妙な
同居が始まった

彼女の名前はユキ

母親が死んで以来
ずっと一人で
暮らしているという

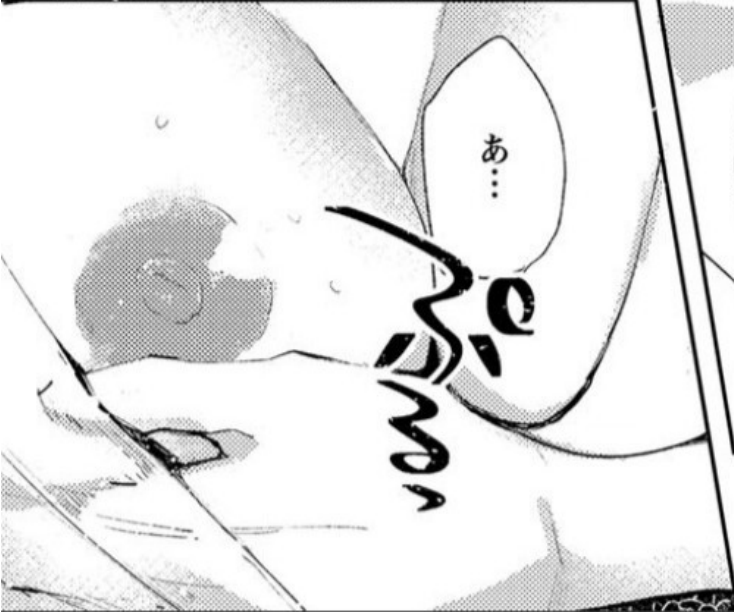
時代錯誤な感じが
するのはそのせいかな

寒さを
感じさせない
服装や白い肌に

人ならざるものを
感じるが

どうしましたか

俺はこの生活を
気に入っていた



ここ
いじられるの
好きだよな

濡れて
きた…

全部
見せて

恥ずかしい

あつ
あつ
あん…

ぬるぬる
はあ…

この間まで
処女だったのに

もうおねだり
してるのか

もう期待
してるんだ？

やあ…

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ









俺も
イキそう
中に出すよっ

ユキ
俺の子産んでよ

はいっ
くださいっ
中にくださいっ

何も知らないユキを
好き勝手するのは
楽しいが

こんな雪山で
一生暮らす気は
さらさらなく

ユキに飽きたら
山を降りる気でいた

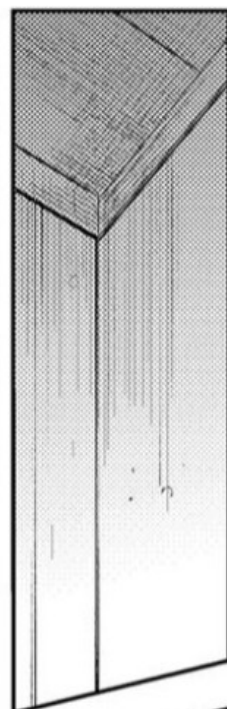




ごめんね
あまり蓄えが
なくて...



お腹すいたなあ



そろそろ
頃合いか...



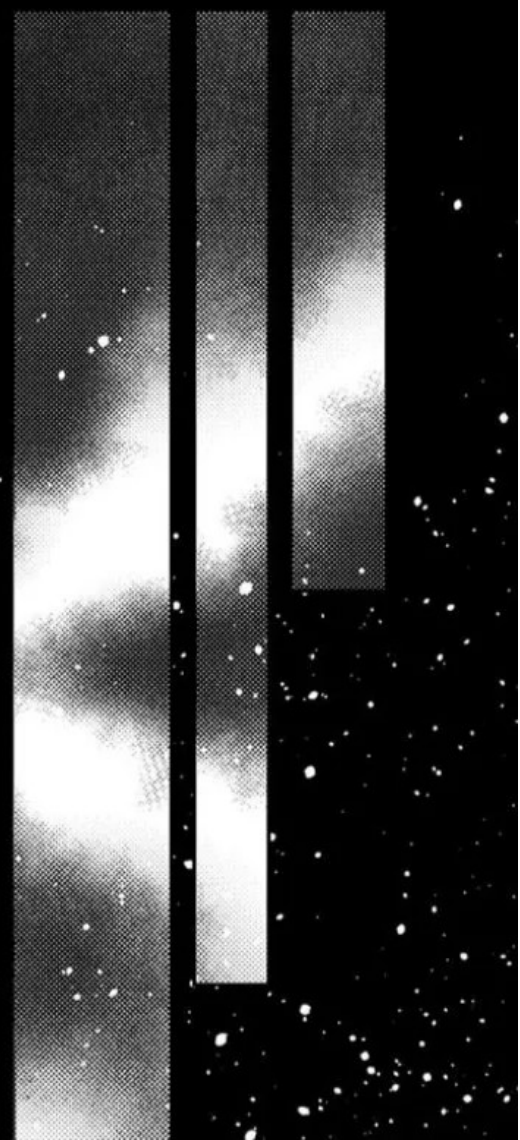
でも
このままだと
餓死しちゃうな

そうだね...



~~~~~







そんな  
格好で…

トニ



うん



ユキ?  
外出てたのか?

サ



慣れてるから  
大丈夫

獣肉捕れたから  
ご飯作るね

ベ



よく  
捕れたな

はい

うん



肉とか  
久し振りだな

クリ





いざとなったら  
二人で山を降りれば  
良かっただろ

私は雪女だから…  
山を降りれないから…

何いってんだ  
ユキ  
わからないよ…

雪女の肉は  
人にとって美味だって

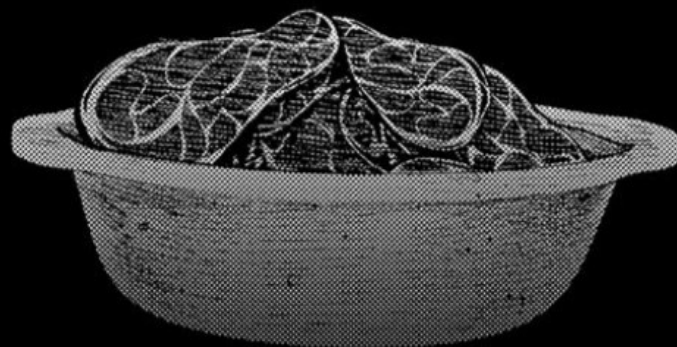
美味しかった  
でしょう？

不老長寿の  
特效薬にも  
なるんだって

たからこうして  
私は人里離れて  
暮らしてる



確かに



あの肉は  
産まれて一番  
美味しかった





グッ

グッ

グッ



雪の断末魔。／おわり

